THE WOMAN'S WEEKLY
第三巻第二十二號
大正六年六月一日發行（毎週金曜日發行）
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□少年裁判所の必要と婦人の裁判官……小橋三四子
□時事週評……
□先帝陛下の御聖德の一端に就いて……男爵 石黒忠悳
□應接間の五分間「遠征の家佐藤少將夫人」
□戰時の敎育……芳賀博士
□いろ〳〵の社會「景氣不景氣の晴雨計なる養育院」……民子
□母職と勞働……山脇博士
□新落語突物語「手土產」……近藤浩一路
□「一錢學校」……K子
□敬せらるゝ婦人……薄田斬雲
□處女出產……
□誘拐事件につきて家庭への注意……三田谷啓
□夏帽子の作り方……佐藤さみ子
□家庭料理 早漬け……伊藤いく子
□オハナシ「自然兒」……琴一子
□外つ國での坊やの日記……片山操子
□短歌「なでしこ」……安中花子
□小說「雜草」……茅野雅子
□東京だより「花の祭」……民子
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵稅各五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

上品で役に立つ理想的の婦人雑誌

五月號内容でも外觀でも他に類のない雑誌

本月も賣り切れぬ内今スグ御求めあれ

婦人雑誌

既に出來
各書店にあり

□柿の花の咲く頃……宇崎純一畫
□カーネーション(石版彩色)……

口繪寫眞
◎婦人の尊き力 ◎新郎新婦 ◎お茶と盆栽 ◎青葉の陰
◎露を踏みつゝ ◎閑午過ぎ ◎とづれ ◎夏のおぐし

讀者文藝
◎短文 ◎長詩 ◎和歌 ◎俳句
◎おとづれ ◎萬年筆 其他

◎婦人と世界的智識……法學博士 蜷川新
◎靜かな樹かげに……文學士 小林愛雄
オフェンバック曲
◎婦人の自立と其の義務……文學士 長壽吉
◎今日の問題……文學士 小林愛雄
◎家庭に於ける婦人の地位……法學士 水島三之助
◎小食の家……文學士 成瀬無極
◎美しい女醜い女……文學士 寺田精一
◎月經と精神の異常……理學博士 藥學博士 長井長義
◎家庭化學 化學變化の法則
◎尊き婦人の任務は……理學博士 山川健次郎
◎三人の弟を學士にした後の樂しみ……三角錫子
◎托兒所を觀る記……きよ子
◎海外特信 學校生活(第六報)……大谷久子
◎畫室……スミカズ

婦人と財産の問題
▽財産分配の必要と分配方……法學博士 戸田海市
▽情的婦人財産觀……法學博士 神戸正雄
▽婦女の財産所有に就いて……文學博士 建部遯吾
▽婦人勢力の消長と財産……文學博士 谷本富
▽婦人と財産の先決問題……法學博士 添田壽一
▽任務の變遷と經濟的獨立……法學博士 山脇玄
▽夫婦を財産上の一單位に……宮田修
▽經濟的獨立は考へ物……男爵 澁澤榮一

◎上手な張物と彤物の利用法(戸板關子)◎入梅時と衣食住の御注意(若原榮代子)◎入梅時の洗濯法や食物の保存方(吉田若枝)◎家庭菓子の製法(手塚かね子)◎六月の惣菜料理(櫻井ちか子)◎體裁よき輕裝帶の仕立方(たみ子)◎髪の似合不似合(森田玉子)

◎小説 産衣……清水清子
◎長篇小説 彼女の一生……田村俊子

發兌 東京市神田區駿河臺鈴木町 婦人雑誌社 電話本局三一八五番 振替東京三三一六〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

少年裁判所の必要と婦人の裁判官

口世の親の戰慄

最近都下の新紙の報道せる田中銀之助氏の愛兒銀八郎(一三)の誘拐事件は世の親を戰慄せしめました。彼れは家出後三日にして飄然國府津驛待合茶屋相仙方に姿を現はし、自らは十七八の見知らぬ青年に活動寫眞を見に行かうとて誘はれ、その後東京を立ち出で、野宿などして此處迄連れ出されたりと云へど、警視廳側にては誘拐か申譯か其の申立に不審ありとて事件は漸く複雜にならうとして居ります。可憐なる銀八郎は、端なくも疑惑の中心になつて、場合によつては、警視廳に召喚取調らべをも受けなければならぬでせう。

口護衛よりも大切な用意

銀八郎の家出には小さき胸を痛めた涙の物語が潜んで居るに違ひありませぬ。僅かに二歳にも足らずして、母に生別したる彼れには、其の後は他人の手に成育し、冷たい家庭の内に大なる缺陥を常に感じて居つた事は事實でありませう。たとへ誘拐されたのでないとしても、またヒステリックな病的現象の行爲でないとしても、既に家を逃れ出やうとする事情は充分に備つて居つたやうであります。無邪氣な兒童の第一の保護者たるべき家庭が、一日たりとも歸りを厭はしむる念を與ふるといふのは、其の家庭に最も重い責めのあるのは勿論であります。もしまた誘拐であつたとしても、活動寫眞に釣られるといふのは、日頃の躾けを面白からず思はせるものであり、且つ富家の子弟とは云へ、子供には不相應の腕時計を所持して居つたり、二三圓以上を嚢中に納めて居つたといふ事も、誘拐の原因をなしたとすれば、これも亦保護者の不行屆きであつたと云はなければなりません。それよりも何よりも兒童とは云へ十二歳にもなつては、兒童相應の常識が養はれ居るべきで、うか〳〵と他人の甘言に乘せられると云ふのは、たしかに普通能力ある者の所爲とは思はれませぬ。この事件以後都下の學校は、急に送り迎へが殖えたといふ世の親達の警戒はさもあるべき事ながら、其の子供の護衛よりも更らに大切な用意が日頃の教養の中に行はれたならば、普通の能力ある兒童を、箱入りにする必要はよもありますまい。

口少年裁判所の設立

不良青年の一掃は、警視廳側の責任であつて、少くとも晝間丈けは兒童の獨り歩きも保障さるゝ位になるべきであります。さうした上で、兒童の誘拐事件などいふ酷たらしい事が、全然〳〵無くなる事を希望するのは、云ふ迄も無い事でありますが、萬一今回の如き悲しむべき事件が起つた場合の用意として、速かに少年裁判制度の設けられんことです。兒童にとつては既に警官や刑事の訊問さへ、少なからぬ威嚇を與へ、己のが失敗を覆はんとして、子供心の淺墓にも嘘言の申立てをしないとも限りませぬ。嘘は嘘を生んで、思はず事件を混亂させながらも、今更ら事實を云へば周圍の人から叱責せらるゝ事の恐ろしくて、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

益々惡る智慧を出すやうになりませう。殊に一と度でも、嚴めしい警視廳の門を潜り、法官の前で冷たい訊問を受けたとすれば、その印象は恐らく生涯拭ひ去る事が出來ず美はしい記憶が其の生涯の生命の泉となるやうに、忌はしい記憶は、常に暗い影を生活に投げつゝ、延びんとする心の芽を萎縮させる事は、思ひ半ばに過ぐるものがありませう。聞く所によれば、司法省では過般來少年裁判所の法案を作製中の由ですが、來らんとする議會には速かに通過せんことを希望して止みませぬ。

□少年の味方の明判事

昨年十二月の本誌に、法學士穗積重遠氏の談として、米國コロラドのデンヴアに行はれて居る理想的少年裁判制度を紹介した事がありましたが、同裁判所のリンゼー判事は、實に少年裁判界の大岡越前守とも云ふべき明判事であつて、眞に子供等の友達となつて、其の心の底を潜つて、至れり盡せりの取扱ひを爲し、子供等の自重心を害はずして、よく其の罪を糺し、不良の性ある者は之れを感化する事に勸めて居らるゝさうであります。折角少年裁判所が設けられても、其の判事如何によつては全然無効に終るでありませうが、既に我が國にも高島平三郎氏の如き、巖谷小波氏、久留島武彦氏の如き、兒童方の大なる味方がある事ですから、少年裁判界にもリンゼー判事の如き明判事を求むれば必ず其の人を得るに難くはなからうと思はれます。

□婦人の判事

これに就いて當局に今から望みたい事は、もし少年裁判所の設けらるゝに及んでは、初めから男子の判事と共に、婦人の判事をも用ひられたいことであります。日本の習慣上、兒童に關する事でも、公の事になれば、婦人の力に須たぬやうでありますが、少くとも保姆は婦人である處を見れば、母たる人は同時に兒童の心理を最もよく辨へ、之れを保護善導するのに、最も力あるは當然であります。私の友人で少年少女の團體を率ゐて居る婦人に「あなたは少年裁判所の判事になれますか」と尋ねると「兒童の爲めならどんな事でもするし、また爲し得ると信ずる」と語つて居られました。兒童の問題に婦人の力の加はらないのは、完全に事を運ばせる所以ではなく、少年裁判所の婦人判事は、婦人の働らき範圍の擴張ではなくて、事業の性質として必然其の力を要するものと言はねばなりませぬ。

（三四子）

二

時事週評

□英國皇后の御近況　英國皇后メーリー陛下には、今回倫敦ウエスト、ミニスター街に戰時共同要食場を開設し、日々一萬人に對して食事を供給して居られるさうです。そして陛下自ら給仕人として立働かれ、皇女メーリー内親王殿下にも、切符受渡場に執務せられて居らるゝ由傳へられます。「人の首たらんとする者は其僕婢たるべし」といふ言葉を實際に見るやうです。戰爭の責、獨り君主のみの負ふべきものではありますまいに、主權者なればこそ其の災厄も我が身にて引受けて國民が勞らはるゝこの御有様は畏しこき極みであります。

□處女出產　本誌の別項に挿入した五島理學博士談の一節なる生物の處女出產は、有り得べからざる事があるといふ事實を教へて面白いと思はれます。見慣れぬ現象を淺薄な智識によつて、一概に排斥して終ふ獨斷的の人は、遂に不可思議な世界の眞相に觸れずに終ふ憐れな人であることは、この一事でも省みられます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先帝陛下の御聖德の一端に就きて（下）

男爵　石黑忠悳

□寛大な御取計らひ

戰時に於ては海陸軍人の身分の移動は、凡て御親裁になるので、日に數百人の辭令書を御手許に差出しました。數多い中には隨分書き損ひがありましたが陛下には一度もこれをお咎めになつた事はなく、仔細ある折は常に岡澤侍從武官長を召して「これを見ておけや」と仰せられる。さういふ折は必ず次郎が太郎になつて居つたり、勳三等が勳四等になつたりして居るので、當局に質して訂正し、翌朝再び御手許に差出し、そして「陛下は如何思召しましたかは存じませぬが、かやう〳〵の間違ひがございましたから、訂正致しました」と申し上げると、たゞ「うん、さうか、」とのみ仰せらるゝが常でありました。岡澤に下げられた内のは、私の知つて居る丈けでも、六度計りありました。然るに非常時とて何れの職務も手不足して居るのに間違ひを御指摘遊ばせば、其の當局は責めを引かなければならないので、かくの如き寛大な御取計らひがあつたのであらうと拜察いたされ、有難いことに存じました。

□鮎のおすべり

廣島師團は手狹なので、御軍議場の六尺外は直ぐ炊事場に連り、御座所に烟りがどん〳〵と入つたのです。東京から參つたさる大官がこれを見て、恐れ多い事に思ひ、即日軍議場と炊事場との間に高い塀を建てさせると、翌日、陛下は軍議場に出御ましまし、一夜にして建てられた高塀を御覽ぜられ「これは誰れが建てたか、無用だから取拂へよ」との仰せで、早速取壞さしめて終はれました。かの大官は惡い氣ではないが御下命もないのに無用の物を造つたといふので、進退伺ひをもすべき處と只管恐縮して居りました。すると其の夕陛下の御膳に鮎がつきますと陛下は一つ二つを召し上つて「これは大層甘美しいから、某(かの大官)に遣はせよ」と下げられました。大官はお咎めを蒙ると思ひの外、鮎のおすべりを戴いたので陛下の御心ももはや解け給ふたといふ事も解り、御寛悟に感泣しつゝ拜領した事なども見受けました。

□墨染めの御障子紙

なほ先帝陛下がいかに御質素にましませしかを、語つて、國民一般の奢侈を戒めたいものであります。我が帝室費としての四百五十萬圓は、列强の帝室費に比較して、實に僅少の額であると申さねばなりません。然るに天災地異のある折の御救恤費は、諸外國に比して決して勝るとも劣るまじき多額に上らせられて居ります。それ丈け帝室に於かせられては、御費用をお省きになつて居られるのでありますす先帝陛下は外國の御儀式や御大禮に當つては、非常に威儀を盛んに遊ばされましたが、御日常は、所謂成金の人達の贅澤に比すべくもありませんでした。御學問所に一枚の毛皮が敷かれてありました。それは豹だか虎だか分らぬ程に、毛は磨り減つて居り、足等は取れかゝつ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て居るのを、麻糸で綴いでありました　陛下が崩御になり今上陛下が宮城に移らせらるゝ時に當つて、宮城内の全部を衛生的の御修覆が行はれました。その際私は監督の任に當られた森軍醫總監に「若しお差支へなくば　陛下の御居間のお欄間の紙を一枚に、お襖の紙の一腰を載き度い」と賴みました。總監はそれ〳〵その筋に交渉した結果「差支へなからう」との事になり、頂戴することになりました。これを見れば幾年かお張り替えにもならぬので、蠟燭の烟りに燻つた其の紙は、殆ど墨染のやうになつて居る、お襖も金の千鳥ははげて、眞黒に燻つて居るのであります。私はこの二品を家寶として子々孫々に傳へ幾代かの後にたとへ三井岩崎の如き富豪とならうとも、明治帝の御質素の生活に鑑みて、固く奢侈を戒めさせ度いと思つて居るのであります。

四

□古今の大英主

實に明治天皇は我が日本の中興の祖にましまし、御逸話の一つを承るだに、古今東西の大英主たるに耻ぢざる御方でありました。皇室の御事とし云へば世に餘り傳ふるを憚りますが、かゝる御聖德をいかでか世に遺さないで濟みませうか、私は出來る丈け廣くこの御聖德を語り傳へて、後の代迄の臣民の尊き教訓と致したいと存んじて居る次第であります。

應接間の五分間

其の五

遠征の家　佐藤少將夫人

▲『その扉もあけたら。』と、斯う夫人は仰有つて應接室の露臺の鎧扉を女中に開けさせられると、ころ〳〵と蛙の聲が降るやうに流れてくる。咲き殘りの蓮華草の赤い花が續く田圃のなかにうれ〳〵と田舍途が走つて、長閑かな姿に荷馬車が通つてゐる。全く繪のやうに靜かな眺めだ。それは地中海で聯合軍のために奮鬪してゐられる佐藤少將の夫人幸子樣を中野の留守宅にお訪れした時のことである。地味な大島の袷を輕く召した夫人は見るからに質素な方である。

▲良人の公務に就いてはお話し致しかねますが、家庭のことならば、と仰有つて、

『良人はをかしいほど子煩惱でございます。現在は十六は頭に三つを下にして七人の子供が居りますが、家のことゝ言へばこの七人の子供が中心になつてすべては其處から振り出されます。まづ市中だと空氣がよくないし、子供は存分飛び跳ねて遊ばねばならないのにそんな、廣い庭を贅澤にとる譯にも行かないしするから、と言ふので、東京へ來てからは此樣な田舍に引つ込みました。子供の行く學校は皆麴町なので、甲武線の電車で通はせて居ります。以前は久しく葉山の方に住んで居りましたが、葉山は空氣が淸らかで淸〳〵して樂しうございました。殊に海は見えますし、』とその日を追懷したやうに言ひ、そして、

▲『私共は何處へ住みましても庭へは芝を植ゑるきりで荒野のやうにガランとさせて居ります。又たとへ植ゑましても、子供達が踏んだり、折つたりしても惜しくないものを植ゑます。美しい花や、木などがあれば無心な子供は折つて見たいかも知れないのに、見せて置きながら欲しがつた時に折らせないのは無慈悲だ。そんな事なら初から植ゑない方が宜い、と良人が申しますので、』と、何時かお話はお子樣方の教育談に移る。そして夫人は良人が留守勝ちだからあゝだ、と言ふやうな不快な結果を見ないやうにと、その每日の大部分をお子樣の上に費されるとか、卅七位ゐの落ち着いた方である。良人少將は救世軍の大佐山室軍平氏の夫人、故機惠子樣の令兄である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

戰時の敎育

婦人によりて行れ廢頽の憂ひ無し

文學博士　芳賀矢一

近く英國から歸朝された芳賀矢一博士を音羽のお宅にお訪れして、英國婦人の現狀に就てお伺ひ致しました。博士はまだ旅裝も解きあへぬお忙しさの中で參戰國の婦人の活動に就て語られました。

□國內の緊張

歐洲婦人の活動振りは實に目ざましいものでありますが、一口に云へば金が取れるから働らくと云つたやうな處も確かに表はれて居ります。私は今度英國だけ視察しましたので佛蘭西や白耳義等の樣子は存じませんが、然し聞く處によりますと、佛蘭西邊には喪服を着けた婦人が隨分居ると云ふ事ですが、英國はまだそれ程迄にはなつて居りません。出征しない若い男も可成に澤山居りまして、熱誠を持つて國內の仕事に從事して居ります。英國へ一度足を踏み込めば、六十歳以下のものは男でも女でも協力して國の爲めに働らいて居て、如何にも國を擧げて外敵に向つて居ると云ふ緊張した氣分が感ぜられます。

□下層婦人の勃興

然し婦人の活動振りに就て、以前の英國を顧れば、中流以上の、國家の中堅ともなるべき階級の婦人達は、殆ど今日と相違なく働らいて居りましたが、下層婦人に至つては日本の同社會の婦人に比して、著しく怠惰でありました。彼等は良人の給料を當にして殆ど働くと云ふ事は無かつたのです。それ等の婦人が今日では金が得られる處から擧つて職業に就いたので、非常に婦人の活動が目立つやうになつて參りました。其の多くは軍需品製造の如き工場で、電車、汽車の車掌から會社等の事務に至る迄、凡て男子の職業を承繼いで居て非常に澤山の收入を得て居るやうです。それが爲めに國內の景氣はよく、一方盛んに賀蓄儉約な奬勵して居るにも拘らず、勞働婦人であつて、立派な毛皮の外套を着て居る人達を見受ける事は珍らしくはありませんでした。のみならず酒場に行つてウイスキーの盃を傾けると云つたやうな弊風をも作つて居ります。

□戰時の敎育

一方中以上の階級にある婦人は、各種の慈善事業に從事して居るのは申す迄もなく、小、中學校の敎師から、專門學校、大學敎授迄に澤山の婦人が居て立派に學生を導いて居ります。戰爭に依つて敎育の廢頽と云ふ事はなく、學生は平素の通り眞面目に勉强して居ります。日本に於ては婦人にして中學の敎師となれる者が幾人あるでせうか。かう考へますと彼我の婦人の程度には尠なからざる差異を認めることになります。尙ほ一方には參政權運動も續いて遣つて居りますが、現內閣は其の實力を認めたものと見えまして、贊成の意を表はして居ります。また食糧問題に就ては政府が非常に奬勵して居りますから、これに關する出版も多く、專門的に研究して居る人々も尠くはありませんでした。

□今後の日本婦人

槪して歐米の婦人は日本婦人よりも身體が立派であり、從つて能力がありますから、一度國に大事の起つた時には、國內の全部をも引き受ける事が出來ますが、我が國の婦人にはとてもそれ丈けの能力はありません。歐洲列强の比に鑑みて我國婦人の體育と能力との養成につとめると云ふ事は目下の急務であると思ひます。英國あたりで戰後婦人が如何なる方向に向はんとする傾向があるかと云ふ事は、未だ明かではありませんが、今迄よりは婦人の職業範圍が擴大された事は事實で、婦人に適當な仕事は戰後も引き續いて致すやうになるでせう。けれども世間で噂して居るやうな男子との職業爭奪戰は政府で充分の豫防策を講じてある由ですから大した事はあるまいと思はれます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〳〵の社會（八）

景氣不景氣の晴雨計なる養育院

收容人の五割は再び世に突進する

▲東京には養育院と言ふものがある。一萬三千餘坪の廣大な敷地に幾十かの棟を列ねた堂々たる構えである。がその建物は何處となく暗く沈んで、重苦しい感じを人に與へる。そして、悲しげな喜びと、黒い悲しみと、——そんなものが此の一廓に影を密めてゐるやうに、人に思はせる。養育院——。全く、惨めなもの〻塊のやうに思はれてならない。

▲此處は人間の生活上に一番大切なる體と言ふ資本を害れた人達が、行路病人となつたり、或は窮民となつたりして落ちてくるのである。そしてその大方は、日の目を見ないやうな哀れな生涯の幕を此處で閉づるのださうな。彼れ等の前生涯は何んな人達が最も多いかと言ふに、中には曾つては高等官何等として威張つてゐたものや、角帽を冠つて大學へ行つてゐたものもあるけれど、多くは一定の職業のないもの、と言つて何にもしないで遊んでゐた譯ではない。其の時々の都合次第で、擔ぎ八百屋にもなれば、俥屋にもなる。立ちん坊にもなると言ふ類の人々である。女は亭主に置き去られたのや、死に別れたのが一番多い。亭主のみを頼りにして生きるやうに教へられた以外に、自分で自分に喰はす術を知らない女達である。また工場などで働いてゐる間に、つひうら若い血の狂ひから同じ工場の男工と怪しい中となり、子供が出來てから男に棄て去られ、身の振り方に困つて送られてくるのもある。一度出ても亦やつてくるのがある。二度出ても亦歸つてくるのがあるさうな。或る人には生活し易い世の中がある人には生活しにく〻出來てゐるらしい。彼等の心には世間體など〻言ふ餘裕はない。唯一日幾十錢と言ふ仕事のみがそのすべてを支配するのである。係りの人は親切に色々のことを話して下すつた。

▲養育院は世間が不景氣になつたり、お米が高くなつたりすると、直ちにその人員に影響するさうな。殊に景氣がよくなると捨子と行路病人とが目立つて減ずると言ふ。目下同院の收容總數は（四月卅日調）二千五百十七名で、去年の同月の二千六百十六名に比して略々百人減じてゐる。而して四月の一月に收容された人は、今年の行路病人は女が二十一名、男が六十九名で、昨年は女が四十四人で、男が七十八人あつたと言ふ。男女何れも去年に比して、空腹い思ひをせずに働いてゐるのが、數字の上に現はれてゐる。

▲此處にくる人達は顏に浮世の影を思はせるほどの表情のあるものはなく、眼に未來にあこがれる光りのあるものもない。總ゆる望みを心の底から思ひ捨てた、具に諦め切つた人の姿である。息が通ふから生きてゐるのだ、と言ふ風な、頼りなく時の流れに漂はされてゆくもの〻儚なき形骸である。唯蒼萎びた顏を俯向けて、死の日を持ちつ〻時を刻んでゐるに過ぎない。一ケ月の死亡者は略五十人。行路病人の收容後一週間以内に死するもの二割四分、一ヶ月以内に死するもの四割六分、一ヶ年以内のものが九割であると言ふ。が全治して再び社會の荒波へ突進するものは收容人の五割だと言つてをられた。死者の爲めには毎月二十日に法養があり、春秋二回に大施餓鬼が營まれる。また七十歳以上の老人が百七十六人、内八十歳以上の人が百十一人、九十歳の高齢者も交つてゐる。此樣な人は、偏へに、その儚なき、たよりなき餘命を、樂しませるやう保護されてゐるお〻、之れも社會の一廓である

（民子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

母職と勞働

婦人の仕事の變遷（三）

法學博士　山脇玄

□獨斷に非れば杞憂

世の論者は往々女子が社會的に活動するに及んでは、男性化して情味を失ひ、結婚を厭ひ、遂には人口の減少を來し、天與の母職を怠るに至らば一大事ならんなど〻の反對說を稱ふに至らんも、こは世界の潮流を辨へざる机上の空理空論であつて、此處に反駁を加ふる餘地も必要もない。もし少しく眼を大局に注ぎ、歐米女子の發達、諸文明國の女子の社會的事業を觀察すれば、直ちに其の反對說の獨斷に非れば、杞憂に過ぎざる事は火を見るよりも瞭らかである。然らば女子は天與の性能を發揮し、世の文化の何れの方面に寄與すべきか。これもとより今後の發展に須たねばならずして、しかも各個の選擇に任すべきは云ふ迄もなき所なれど、女性は特に同情愛護の念に富むもの故社會上にも、またこの長所に適應する救濟慈善の事業は、自ら其の手に委ねらるべきである。

□資本主と勞働者

上流婦人の社會的事業が、前述の如き徑路を辿つて發展し來りたるに反し、下流の婦人の仕事は、自ら趣を異にして居る彼れ等は夫の收入のみにては、一家を糊する能はざるのみならず、世の進歩に伴ひ、衣食住費の高騰するに至り、遂に劇しき生活難を訴ふるに至つた。此處に於て下層社會の婦人は、爭つて職業に就かん事を希うた。然るに家內工業の時代に於ては、主婦が働らき乍ら家政をとる事が出來たであらうが、工場工業の時代に至つては、母職と、職業との調和が困難となつた。英國に於ては千七百六十四年來、紡績蒸氣機械等の發明により、大規模の工業勃興し、多數の男女の職工を要せるのみか、甚だしきは多くの少年を用ふるに至つた。而して工場の繁榮は、漸く資本主と勞働者との懸隔を生じ、此處に十九世紀の階級鬪爭が起るに至つた。古來勞働者は營業主に對して主從の關係に起つて居つたが、立憲思想の普及に從ひ、營業も各自の技能に應じて選擇し、資本主と勞働者との關係は自由結約者として對立し、任意に契約を結ぶものとなつた。元來莫大の資本を有する營業主と無資力の勞働者との關係は、勢ひ前者に有利にして、後者に不利なるは云ふ迄もなく勞働者等は不衛生的の工場で、僅かに生活し得る賃銀を得るに止るといふ悲慘の狀態に陷らざるを得ないのである。

□生活難の悲劇

獨逸に於ける機械工業は英國よりも遲く、千八百六十年頃に至りて漸く盛況となり、超えて千八百六十六年の墺太利戰爭、千八百七十年の佛蘭西との戰役を經て、著しく擴大した。然し英國の前例に鑑みて、其の轍を踏まざらんとしたが、やはり勞働者は苛酷の境遇に陷り、貧困は襲來して等しく悲劇は年と共に噴火の勢となつて强烈を加へ學者、政治家、經濟學者は云ふに及ばず、大に世人の注意を喚起する事となつた。ジョン、スチユワルト、ミルの如きは、猛烈として起ち、滿腔の熱誠を以て叫んで曰く「民衆の大多數が、いつ迄現在の悲慘の境遇に甘んずるであらうか。彼れ等は必要缺くべからざる生活費を得んとして、夙夜前途の光明も無く奴隷と等しく額に汗して汲々働かなければならぬ。か〻る事情の下に在りては、知識どころか、德義も何も無くなるのは當然で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある。彼れ等は生活費に追はれて、他の何物をも顧慮する暇なく、自然利己的國民として、社會に害毒を流すに至るも、止むを得ざる所である。且つ自己の貧弱に引かへ、他人の富强を嫉む胸の炎、押へ切れずして、遂に社會の不公平を訴ふに至るも無理ならぬ所である。これ等の慘狀が永續するは、思慮ある人士と共に大に考究すべき所にして、今日に在りては、まだ何れの方面に改善すべきか、前途漠然として、其の歸趨を知るに由なしと云つて居る。

□勞働婦人の過勞

我が今日の勞働者の狀態は、十九世紀中葉の英國の慘狀に似て居る。しかも男子の勞働者の總數四五〇、二九八に對し、女子は四八四、六九八といふ他國に類例なき多數を占めて居る。殊に之れ等は纖維工業、紡績等の工女であつて、廿歳未滿の者が多數を占め、十四歳以下の者が一割に達して居る。我が國程女子の勞働者が一國の生産に貢獻して居る所は稀れである。

然しこれ等勞働者の母職と職業とは兩立し難く、朝早く家を立ち出て、夜遲く歸る彼れ等は、勢ひ家政を見るに堪へず、且つ工場の勞働は女子の肉體を疲弊せしめて、懷胎出産を不能ならしめ、懷胎中の勞働は流産を來し、母の生命迄を奪ふに至る。

幸にして出生しても、充分の哺育も出來ざる處より、上流社會に於ける一年未滿の初生兒死亡率百分の八に過ぎざるに、下層社會のそれは實に百分の三十に達して居る。英國に於て一と年棉花不作を告げて、紡績工場不振の結果は、女工の就職難を來し、延いて下層社會の幼兒の死亡率を著しく減少せしめたる事實は、英國の人心を動かし、母の工場勞働の恐るべきを知らしめた。かゝる慘狀は、程度の差こそあれ、各國同一轍を示して居るからは、其の救治手段に就ても亦同一政策をとらなければならない。果して然りとすれば、下流社會の生活法に就いて心ある者は大に思慮を廻らすべきである。

八

新舊衝突物語（十五）
手土産
近藤浩一路

一寸他家へ訪問の場合でも、老人は手土産がなくては、氣がすます、若い婦人はそれについては、割合無頓着。其のため、持つて行くと云ひ、いらぬと云ひ、いろ、いらぬといつて、此處に於て、新舊思想の衝突。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「一錢學校」

明盲人にさせたくないこいふ親心に變りない

□昔の寺子屋式

府下内藤新宿の南町に汎愛學園と言ふさゝやかな私塾がございます。其處いらの子供達はその塾を『私たちの一錢學校』と呼んでゐます。學校と言つても昔の寺子屋流のもので、裏長屋の一廓をぶつとほして十五疊敷あまりのうす暗い家でございます。二疊敷ばかりを茶の間に障子でしきつた殘りが教場なのでした。ぼろ〳〵にほつれた茶褐色の破れ疊の上に生徒達は坐つて授業をうけるのでございますが、机と言ふものは一脚もなく、漸く蜜柑箱を二つ並らべてその上に一間餘の板を渡して机の代用にしてあるのでした。見るからに見窄らしい學校、塾長さんは中西正朔氏と言ふ鳥取市の人でございます。創立は明治四十三年の三月廿五日で、今年の春は第七回の記念式がありました

□子を思ふ親心は一つ

『一錢學校』——汎愛學園と言ふ立派な名があるのに、何故それを一錢學校などゝ小供達は呼ぶのでせう。之れには面白い譯がございます。此の近邊は一帶に貧しい貧民窟で、狹い道路の兩側に三疊一間や、四疊半一間のうす暗い長屋が並らんでゐて、年中太陽の光りの屆かないやうなジミ〳〵した土地であります。そしてそのマッチ箱のやうな小さい家に住んでゐる人達は大方が日傭ひ人夫などで、收入は不定だし、家族は多いしする所から可愛い子供をも普通の小學校へ遣るだけの資力がなかつたり、又土地つ子でない人で寄留届をしてゐないものなどは何處の小學校へ、と指定して來ないことなどから自然學校へ出さないものが多いのでございます。とは言へこの開けゆく大御代に文字を讀み得ぬ明盲人ほど慘めなものはない。明日の米を思ひわずらふ彼等も、子供の未來を愛するの餘り汎愛學園へ遣るのでございます。

此處は純寺子屋式で、全くの個人教授なのであります。毎日授業料を一錢づゝ持つていけば筆も紙も墨も本も要りません。みんな貸して貰つて習ふのでございます。そして授業料にする一錢のお金のない日には休んで、また出來た日に行つても宜いのでございます。授業は三部教授で、毎日午前九時から十二時迄に一組と、午後の一時から四時迄と、午後六時から夜の九時迄との三組に分れて居ります。この三組を合して目下生徒は百三十人、七年間に取り扱はれた人員は七百幾十人に及びます。

□人生のドン底に落ちて

この面白い塾の塾長の中西氏は今年五十三、羊羹色に燒けた黒紋附の木綿羽織を着て生徒の前に立つてゐられる姿は、浮世の慾を捨て去つた、村夫子然たる面影が漂つてゐます。一分刈に短かく刈られた頭には、チラ〳〵と白髪が光つてゐる。舊鳥取藩士で、曾つては大阪の驛遞局や陸軍砲工學校の圖書係等に奉職してゐられたが四十歳の時に病魔に襲はれ、職を辭して放浪の身となられたさうです。

『一時は人生のドン底に落ちて新宿の安宿で途方に暮れた日もございましたが、夫れが私に知らぬ世界を見させる機會になりました。私は泌々學校へ行き得ぬ子供の不幸を知り、自分の殘つた生涯の仕事は之れだと思つて塾を開きました。が世の中が不景氣になると隨分經營が困難になり、あゝ止して了ふかと思つたこともございました。が、幾人でも來てゐる子供は之れから教へる人がなくなるんだと思ふとまた可愛さうになつて彼等の無邪氣な顏に勵まされ今日までつゞけて來たやうな譯でございます。私はこの仕事が世の何かになればもう滿足いたします。』と斯う言つて居られた。生徒は裏長屋の子供にも似ず、『先生お早うムます。』と、丁寧にお辭儀をしてゐます。（K子）

九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

敬せらるゝ婦人

愛せらるゝよりむづかしい

斬雲

□奴隷的愛は禁物

從來の教訓に依れば、婦は愛せらるべき爲めの存在で、男に頼より、男の愛の庇護の下に生きるものと定められた樣です。之が爲めに、婦人は、全然受動的となり、獨立心を失ひ、一旦困難に出會ふ時は、唯だ泣くばかり、甚だ心細い狀態に陷つたのです。つまり全然、人格を無視し、個性を失つて、奴隷を以て甘んじたといふ次第です。愛せられん事を只管に求むるの極は、玩弄物視され、輕蔑さるゝに至るのです。八方美人主義は、權威を失つて、骨無しに終るのです。今後の婦人は、愛せらるゝの人たらんと念ずる事を止めて、敬せらるゝの人たらんと努むる事が、時勢に適應するだらうと思ひます。

□素顔の美品格の美

愛せらるゝの人たらんと念ずる事は、甚だ易いのです。大して修養も努力も費りません、女の天性好きなお化粧さへして居れば可いのです。平たく例を取つて言ふと、愛と敬とは、お化粧と素顔との差異です。素顔を美しくする事は大變面倒です。第一に營養佳良な血色の好い健康體にならなくてはいけません健康者の皮膚には、白粉やクリームでは到底も及ばぬ光澤があります、內に充實して自づと外に發する光りです。それから、精神を正うして、立派な品格を備へなくてはなりません、顏の表情は、精神の發露です。立派な顔付き目付きは素顔の美には缺きがたい條件です。品格のある立派な顔の婦は、自づと男の畏敬心を喚起します。どんな下等な人間でも、冴へた月光を眺めては、陋劣な卑俗な念を一時なりとも拂拭されると同樣に、清い氣高い品格のある婦に對しては、如何なる男も無下に侮辱を加へるものではありません、敬から入つた愛は眞の愛です。敬を缺いた愛は、淫らな愛に終り、やがて飽かれ棄てられます。

□敬は男女關係の基礎

愛といふ語の眞意義を徹底せしめたなら、當然、敬といふ處迄行くのでせうが、今日普通には、敬を度外視した愛が唱へられます。愛なき結婚は破滅に終ると言ひますが、モ一つ高く、男女間の關係には、敬が第一條件であると言ひたいのです。敬ある處必ず禮あり、禮ある處、決して亂れがありません。女の腹は借り物、小皺の寄る頃には唯だ之れ荷厄介な醜骸であるが如く見らるゝのは、其女に敬を買ふ丈けの價値がないからです。男同士の間でも、凡ての人から、好い子として待遇され樣と考へると、忽ち、他の嘲弄物となります。況んや、女にして敬を考へざるに於ては、何の取柄もない、唯だ男の荷厄介たるに終るでせう。

十

處女出産

▲生物の出生には雌雄の二種が必要な事は原則であつたが、此の頃蛙の卵に機械的の刺戟を與へて、蛙を完成し、雌計りで子を生ませた學者が歐洲にあるさうである。これを生物學上處女出産と名づけて居る。▲もしかうして生んだ子が雌計り、或は雌雄の二種なら、雌の一種で、種族の永續を計る事が出來るであらうが、雄計りであつた場合には、それ限りで種族が絶えて終う譯である。これは現今なほ各種の生物に就て實驗中であると、五島理學博士は語られました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

誘拐事件につき

家庭への注意

ドクトル　三田谷啓

□家庭の注意

誘拐者の横行は春から夏にかけて盛んになるものでありますから、家庭及び子供自身は此の際充分の注意を拂はなければならないと思ひます。夜店等を見に行く時大人の附き添つた場合は兎に角、子供一人であるならば、夜は勿論晝でも一人遊びはさせ度くないと思ひます。次は小遣ひ錢を渡さない事です。よく淺草邊で誘拐されるものは、活動の入口で切符を買つたり食物店で買ひ物をして居る時に、蟇口にお金が澤山這入つて居るのを不良少年に見られたのが原因で、巧に誘拐された例は尠くはありません。

□日曜の善用

子供が活動や芝居を好むと云ふのは、一つは家庭に其の罪が多いと思はれます。それは今迄の普通の家庭では、今日は日曜であるから、今日は祭日であるからと云つて子供を連れては淺草の如き處に遊ぶのが、此の上ない樂しみとして居ります、子供は勿論賑かですから喜んで一日遊びます。それが段々重るに連れて一人で活動を見に行つたり、縁日に出かけたりするやうになるのです、靜かに心身の保養を計るべき日曜を斯くした事の爲めに費して、然も澤山の惡結果を産むに至つては誠に歎はしき極みであります、故に家庭では、日曜の意義をよく了解して、これを善用する事に勉めて欲しいと思ひます。活動や縁日の如きは誘拐者の巣窟であるばかりでなく、フイルム其れ自身が、誘拐者となる場合が決して尠くないのです、これ等俗惡な娛樂場は健康の爲めにも害が多いのですから、なるべく避けなければなりません。

□誘拐者の種類

誘拐者の中には二種類あります。一は硬派と云つて、短い着物に袴をつけた書生風のもの、一は軟派と云つて、服裝の立派な着物を長く着た、柔しさうな容子をして居るもので、これは主に女性を誘拐するものであります。前者は少年青年を公園活動等で手に入れるのですが、後者は、學校の途中をつけて異性の袂に手紙を入れたり、或は雜誌の懸賞文學等を見て、女の僞名を以つて手紙を寄せ、終には寫眞の交換を行つたり、機會を作つて遇つて見ると、案外男であつたりすると云ふ手段をとつて居ります。然しさんざ手紙の往復をして居りますから、今更らどうする事も出來ず、據處なく交際を續けると云ふ事になるのも珍しくはありません。

□女子が誘拐する場合

又時々は女子が男子の誘拐者となる場合もあります。それは醜業婦の類でなくて、十四五才の生理的變化を來す時分に、年少の少年を誘拐する事があります。家庭で得られない自由を得られる夏期の海水浴場などには折々見受ける事がありますから斯云ふ場合には特に家庭の注意を要します。

□兒童に豫め注意する事

斯くの如く彼等は種々の方々を以つて、各方面に手を擴げて居りますから、子供は外出の折に、馴々しく話しかけたり、食物や金錢を與へる人があつても決してこれを貰らはない事。又人通りの少ない道などで跡から付いて來る人があつた時には近所の交番か、人家へ行つて、事情を訴へて自分の家迄送り屆けて貰ふ事。未知の人から、住居、姓名、學校等を問はれても答へない事を心懸けなければなりません。然し萬一捕へられた節は、一室に閉籠められて居る場合は仕方がありませんが、地方へ送らるゝ場合ならば、必ず逃れる場所があると思ひますから折を見て彼等の手から逃れる事を考へるやう豫め敎へて置きたいものであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上品で格好のよい 夏帽子の作り方

ミシンなら二時間で出來る

佐藤こみ子

「私はこの五月の初め頃から、一寸手輕く出來さうなものを或る西洋婦人からシンガーミシンで教つて居ります。この夏帽子は四つになる私の娘の子の爲めにと思つて手ほどきの時に教はりましたが、作つて見ますと形はまことに單純ですけれど、冠らせた姿が割合に可愛らしいので、」と佐藤こみ子樣が仰有つてお話し下さいました。この帽子を基礎にして、色々工風遊ばしたら、種々な面白いものが出來ませう。ミシンのない御家庭なら、ミシンで縫ふ所を、細かく返し針でお縫ひになつてかまひません。

□帽子の材料

この帽子の材料としては、適宜の表布と裏布とを各々一尺三寸角にして一枚と、別に鉢巻き用の布として三寸巾のものを一尺八寸、他に裏布と同じ色の布を二寸巾にして一尺二寸位ゐ(之れは小供の頭の太さの丈だけ)用意して置きます。そして此の用布は、何れも洗濯のきくものを用ゐて置きますと、少し汚れ目が現はれ次第手輕く幾度でも洗つて、また元の形にして冠らせ得る便料がございます。裁つて縫ひ上げる迄ミシンを用ゐると二時間で出來ます。

□仕立方

まづ表布と裏布とをきちんと重ね、布一杯の大さ――直徑一尺三寸の圓形に裁ちます。次ぎに裏布のみを取り、圓形の端から中の方へ向つて幅を二寸五分くらゐにして丸く標をつけ、その標から裁ちます。そして眞中に穴の明いた輪形の裏布を、表布の圓形のものと重ね、(布の表を中にして)圓形の外側にしつけをかけて二分くらゐの深さで縫ひます。縫つたら裏布の方へ折り、アイロンか鏝をかけて表に返し、圓形の周圍で表裏の布を突き合せて更らに鏝をかけ、裏布のもう一方の裁ち目の所を三分の深さに折つて表布に閉ぢつけ、ミシンをかけます。此處を假りに(イ)として置きます。次ぎに丸くくり拔いた裏布の殘りを直徑七寸許りに裁ち、子供の頭の太さに分はせて襞をとつて縫ひ縮め、幅二寸の布で縁をとつてミシンをかけます。この縁の中には厚い布の心を入れて置きます。そして前に縫つて置いた表の(イ)の所を此の裏に合はせて格好よく一方に折つた襞をとり、堅く閉ぢつけておき、

十二

問と答

問 夏になると兎角髮が臭くなりますので、第一自分にも不快ですし、電車などに乘つた場合にも、人樣にお氣の毒でなりませんが、髮の臭みを簡單に消す方法は有りますまいか。(巣鴨 愛讀婦人)

答 それには、出來得る限り屢々髮を洗ふことが肝腎です。あまり刺戟性の石鹼なぞを用ひないで、クラブ洗粉で垢や埃をさらりと洗ひ落して了ふのです。洗つた後は散らし髮にして、餘り強くない日光を受けるやうにして、それからクラブ香油のやうな上等の髮油を、少し附けるのが一番宜敷い。クラブキニーネ香水を頭の生地に擦り込むのも、雲脂を防ぎ頭を涼しくし、且つ爽かな香りを添へて快感を與へるに、最も有効な方法です。

問 クラブ美身クリームを白粉下として使ふには、何うすればよろしいか、お伺ひ申します。(上州新婦の妻)

答 先づクラブ洗粉でよくお洗ひになつてから、クラブ美身クリームを指先に取つてよ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

その閉ぢ目から三分内側へ裏を閉ぢつけます。之れで出來上りましたから襞の閉ぢ目の所から帽子の頂上に向つて鉢卷を幅一寸二三分に皺をよせて閉ぢつけます。そして鉢卷の布が三寸ばかり殘りますから巾一杯の圓さに縫ひ、眞中を二分位ゐつまんでくゝり、表に返して縫ひ目をしぼめると花のやうなものが出來ますから、之れを鉢卷きの合はせ目の上に縫ひつけると全く帽子は出來上ります。洗濯する時は鉢卷との縁どりをした裏布とを解き放して別々に洗ひ鏝をかけて再び閉ぢつけます。

家庭料理の改良(三)

早漬け

伊藤いく子

今回は餓かのお客様や漬物の切れた時に、急場な後ぐ早漬けの一二をお話し致します。

口一夜漬け これは大根の根さ葉さを細かく刻ざみ、すつかり鹽揉みを致して靑い水を絞ります。この鹽揉みを致しますのに、用ふる器具などは、何んでも差支へなさそうに思はれますが、私の實驗から申しますさ一番擂鉢の中で揉むのが宜しいやうです。周圍にぎざ〳〵がありますから、烈しく力を入れなくても容易く揉めます。そして材料が打てませんから漬け上げてからお甘しく、見た體裁もよろしうございます。鹽揉み致しましたものは、一旦水に晒し、固く絞つて水氣を除り、鹽漬けにして押しを置きます。お茄子は淡泊鹽揉みして、靑い水だけを除つて其のまゝ漬ける方が味が宜しうございます。唐辛子、靑紫蘇等の細かに刻んだものを入れますのも風味を添へて結構です。夕方漬けて翌る朝頂く位ゐが一番の喰べ頃でせう。

口早漬け これは最も簡單の方法で、お客様の顔を見てから手を下ろします。胡瓜を入風位ゐの輪切にし、淡泊りさ鹽で揉みます。けれども胡瓜揉みのやうに眞當に揉みますさ、折れて終ひますから掌で押へるやうにしながら、鹽が全體に廻るやうに致さなければなりません。出來上りましたらば其まのゝ膳に上せます。鹽が甘ければ一寸醤油をおさすのも宜しうございます。

口味噌漬け 普通田舍で致す味噌漬けは、可成り長い間漬けて置かなければなりませんが、これは二ケ月位ゐでお甘しく頂かれるやうになります。市内の漬けもの屋にある鹽漬けの茄子を買つて參りまして、水に浸けて充分鹽出しを致します。そしてよく、水氣を除ります爲めに一日二日日向に干し、二つ切にして味噌に漬けるのです。味噌は田舍味噌五百目に酒粕二百目を混ぜて、二合のお酒で弛ろめるのですが、酒粕は常にあるものではございませんから、粕の代りにお酒を少し多く入れても宜しうございます。これに醤油二合を加へもたのゝ中に茄子を漬け込みます。二ケ月程經つて食べられる迄確かり目張をして置きます。瓜等も同じ方法で漬けられます。

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣淸新、四季綠草なもて覆れたる天興の酪農地伊豆の大島に産せる純眞、風味卓逸、心地よき黃金色の最上バタを試みられよ

定價 半斤 金五十五錢　壹斤 金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋

佐野商會

電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

く塗込み、柔かいタオルの類で輕く拭取り、其上にクラブの粉白粉なり刷白粉なりをお附になれば、高尙で床しく美しいお化粧が出來上ります。

問 若葉の頃になりますさ、毎年私は面皰が盛んに出來て困るのですが、適當な手當法があらば御敎示に預りたいさ存じます。(盛岡淸水いち子)

答 面皰の盛んに出來るのは若い男女に多く、殊に黴菌の爲す業ですから、充分手當をするに越した事はありません外國製の面皰藥もありますが概して硫黃が交つて居ますので、體質の異る日本人には却つて害になる場合がありますす。試みに脂肪の多い婦人が硫黃氣のある溫泉に入ると、皮脂腺は直に硬化して黑くなり、押しても搔いても容易に除れぬ面皰となる例も尠くないのです。それ故平常注意して、日に二度位クラブ洗粉を使つて微溫湯で顔を洗、其後へクラブ美身乳液又はクラブ美身ゼリーを塗込でおく樣になさるのが、一番安全です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（二）

山間の家（下）

琴子

デビッドがこの山の家へ連れて來られたのは、四つの時でした。今年、十になるまで、六年の間、着物の事から、御飯の事から、何もかも、父さんが男の手一つで世話をして來たのでした。

父さんは、たゞもうデビッドの事ばかり考へて居て、大層、氣を附けて育てゝ居ました。幼い時には、なるたけ澤山美しい物を見せたり、善い事を聞かせたりして置きたい、そして惡るい事やいやな事を知る前に綺麗な心にして置きたいと言ふのが父さんの考へでした。

デビッドは父さんの考へ通り惡るい事も、いやな事もまだ知らない素直な善い子でした。

デビッドは、病氣になつたり死んだりする事が、どれ程悲しいつらい事か少しも知りませんでした。

丁度デビッドが六つの時に可愛がつて居た栗鼠が一匹死んだ事がありました。それを見て「父さん、栗鼠、寝てるの！ちつとも起きないの！」と云ひながら、そつと體にさはつて居ましたが「アヽ、こんなに冷めたい。」と目をまるくして居ました。

次の朝、デビッドは思ひ出したやうに

「父さん、死ぬつて何に？あの栗鼠は死んだつて牛乳屋が言つたの！」

「そりや、デビッドや、氣の皮があるだらう。あの中に居たほんとの栗鼠が居くなつた事だ」

「何處へ行つたの？」

「父さんもよく知らないが遠い處だらう。」

「歸つて來るの？」

「いゝや、歸らない。」

「栗鼠、行きたかつたの？」

「さうだらう。」

「なぜ、毛の着物着て行かないの？いらないの？」

「あゝ、いらないのだ。」

それから、デビッドは暫く默つて考へ込んで居ました。

十四

四

五日たつて、父さんと、寒い朝、早く川のそばを歩いて居ました。すると厚い氷のはつた川が、下の方で、チョロチョロ、チョロチョロ、音をたてゝ流れて居ました。デビッドはそれを氷のワレ目から見てあゝ、川も栗鼠のやうに氷の着物をおいて、遠い處へ行くのだと思ひましたから

「父さん。この川も死ぬのね、あゝ、歌つて行く。」

又少したつて、此度は本の中に死ぬと言ふ事がありました。デビッドは、ビックリして

「父さん。デビッドや父さんも死ぬの？」とき〻ました。

「うん、いつか死ぬ。そして遠い處へ行くのだ。」

「きつと、あの川のやうに歌つて行くのですね。」と言つて居ました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今デビッドはもう十になつて居ます。けれどもやつぱり死ぬ事がいやな事とは思つて居ませんでした。

父さんは、此頃、めつきり弱くなつて、とても永くは生きて居ないと自分でも思ひ出しました。そして、若し自分が死んだら、デビッドはどうなるであらう、何にも知らないデビッドはさぞビックリするであらうと考へますと、心配でたまらなくなつたので、急に自分の町へ歸らうと思ひ出したのでした。

「デビッドや、明日、行から。さあ、お出で、支度しよう。」

父さんは足の痛いのも、病氣の苦しいのも忘れて、元氣よく立ち上つて家へは入りました。そしてせつせと荷物をこしらへ初めました。

外はもうすつかり暮れて、まつくらでした。

デビッドは、不思議さうに、父さんの樣子を見て居ましたがやがて、自分も、ヴアイオリンを持つたまゝ、父さんのあとから家へは入りました。

外つ國での 坊やの日記

在米シヤトル　片山　操子

□四月八日　イースターサンデー、今日から愈々長い眠りの春が蘇り、天地生々の氣が漲るかと思ふと、其處に何等宗敎上の聯想がなくとも、新しい朝の日ざしがなつかしく思はれる。坊をつれてサンデースクールに行く。生徒さん達の御祝ひの會がある。會堂はイースター、リリーや眞白なカーネーションで簡素な裝飾が施してあつた。歸途美しく彩つた卵をいたゞいて歸る。

□四月十一日　大分怠けつゞけて居たマヽは、そろ〳〵勉强を始める。坊やをうちに殘して置くのが不安心なので、抱つこしてお稽古に行く。御本と坊と抱つこして行くのは、中々重い。マヽはこんな時、よくこそ腕節の達者な女に生れたと神樣に感謝する。ザ、チヤイルド、ガーデン、ヴエルスといふ子供の詩を集めたものをお習ひする。先生は若い美しいミス、マカロウ。頁の一等始めの詩は、ベッド、イン、サンマーといふ題。

私ね、あの寒い淋しい冬のうちは、
夜になるまで起きてるのよ。
そして黄色い蠟燭の火をともして、
ねんねしに行くんです。
だのに、暖いきもちよい夏は、
日も暮れ切れない先に、
ねんねしなければならないの。
＊　＊　＊
御覽、あの小鳥だつて、
枝から枝へ樂しさうに飛つてるし、
大人は町を面白さうに歩いて居る、
何故私達ばかりがこんなにはやく
ねんねしなければいけないんだらう。
＊　＊　＊
ね、あんなに美しい空が
ベッドルームの窓から見えてるのに
お目々瞑つてねんねするなんて、
私には出來ないわ。
私達はまだ遊んで居たいのよ。

意味丈けを譯すれば、こんなことになるようだ。私は坊やのためにこの詩集を譯して置かうと思ふ。

なてしこ

安中　花子

いさゝ川投げて浮かべしなでしこに運命うらなふ野路のたそがれ
さつきばれ見るものなべて嬉しかり我が魂やゝによみがへるらし
雨に打たれ風になぶられなでしこの其の名ばかりは安らかにして
わびしさは一人の我に樣々の怪しき性を見るきのふけふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

雜草（三）

茅野雅子

丁度月を越えると院展や文展が京都にも開かれやうとする頃で、お久の周圍の人々も皆な幾らか興奮しながら、聲高にそんな噂ばかりしてゐた。お久が一週間に三日づゝ通ふ友人の畫室に出入する若い人々は、殆んど一日そんな噂ばかりしてゐた。

『昨日曉風に寺町で逢つたら、奴、えらい得意なんだ。是非許して呉れませんか等云ふとつた。』

『文展の審査に入つた位が何や。』

『併し笛波のやうに落選するのもいゝ加減のものやぜ。當人よりは妻君が非常に悲觀しとつたぞ』

「それやさうや、入選するとせんでは、今後の經濟上に少なからず影響があるものな。』

『笛波は駄目だよ武田さんの受けが惡いからな。』

そんな話からよく畫界の黨派のことや勢力の消長の歴史に移つて行つた。この舊都の中にある多數の畫塾の門生の中には、頭といひ技術と云ひ、明らかに同門中の當選畫家よりは優秀な人等が、たゞ個人的に審査員の好意を求めないばかりに落選の憂目を重ねてゐる例も少なくはなかつた。

『深見さん、來年は文展へ出されるでせうね。いつかの「あこがれ」のやうなのを。』

お久はそんな風に話されるのがつらかつた。丁度結婚して二年目の秋、まだ長女の奎子の生れない前、山岡先生に勧められて始めて出した「あこがれ」等も、今の自分から見れば先生の模倣から幾らも離れてはゐなかつた。

入選の報を聞いた時、同じ塾の人達を始め、自分迄があんなに嬉んだことが考へて見ると恥かしい。奎子につゞいて間もなく八重子の母となるやうになつてから、子供の世話や家事の整理やらに逐はれて、山岡塾へも漸々足が遠くなり、畫くよりは見る方に移つて、自分の畫室は幾時の間にか主人の書齋になり、手すさびにしたスケッチの筆も漸やく忘られて、琴の爪や三味線の撥が指に親しむで來た年月の間には、お久の心の上にも少なからぬ變化が行はれた。

幼ない頃から繼母の下に種々の氣苦勞をして來たお久が、家庭の寂寥から遁れやうとして、一身を丹青の技に捧げやうと決心してから更らに人妻となるまでの間の苦勞も勿論小さいものではなかつた。まゝしい母の嘲笑や、父や親戚の反對や、畫塾の人々の環視の中に立つて、到頭結婚するまでは、お久の心の力が盡きやうとしたことも幾度かわからなかつた。

併しさう云ふ時、外から始終力を與へてくれる健次がお久の心にあつた。

『結婚しても畫とは離れたくない。』

その心持ちも健次にわかつてゐた。其頃東京の方に住むでゐた健次とお久とを結び付けたものも云はゞ畫であつた。彼れがその頃勤めてゐた官省の要事で二月に一度位づゝ關西の方へ下つて來るたび、きつと京都へ寄つて友人の畫家を訪れるのが常であつたが、二人の知り合になつた始めもその家であつたのだつた。結婚して間もなく、餘り有利でない條件にも關らず健次が京都へ轉勤したのも、一面にはお久を最つと山岡塾で勉強させたいといふ考へからであつた。それだけに「あこがれ」が入

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

選した時の嬉びは非常のものであつた。

「この頃は同僚にからかはれてね。」

等と云ひ乍らも、お久の前途を祝福せずにはゐられなかつた。

併しそれも長くはなかつた。お久長女の奎子を産むでから、お久の興味は全然實際生活の方へ傾いて行つた。初産の肥立の面白くなかつたことや、奎子が病氣勝ちであつたこと等もお久の心を畫の方から遠ざける動機とはなつたけれど、その奥深い原因は寧ろ外の方にあつた。それは青春の境から出やうとするものゝ誰れでも一度は味はなくてはならない寂寥の心がお久を捕へたのであつた。畫のやうな靜な上品な、云はゞ間接なものは、お久のさうした心持からは漸次遠ざかるやうに見えた。澤山の山河を越えた後、更らに疾風に逆つて怒濤の海を乘り切つたやうに感じてゐた結婚當時の安靜な心からこそ「あこがれ」のやうな畫も生れたのであつた。人情の限りなき曲折を靜かに觀じながら、自分も又流轉の波をあげてゐる一人だと思ふやうな、頼りなく寂しい心には、もつと動的な、もつと直接な刺戟が望ましかつた。人の作つた歌をうたひ、人の踊る舞踊を見たりしてゐるのでは物足りない。自分も何か大きな聲で叫むでみたく、手足が千切れ飛ぶほど舞ひ狂つて見たい。お久は時々さういふ發作に捕へられ乍ら、病ひ勝ちな子供の養育や、たん〳〵複雜になつてゆく家事の心勞に沒頭して、そこに一家の主婦として、又子供達の母としての淡い滿足に馴れてゆく自分を、あはれにも眺めながら、尚ほ平和な家庭の幸福を味はつてゐられるのであつた。

さうした彼女が、去年の春から又畫筆をとるやうになつたのは、寧ろ偶然といへば偶然の機會であつたものゝ、さうなつてからお久の心にも何となく眞面目なもの、強いものが日に日に生長してゆくやうに思へるのであつた。

東京だより（十）

花の祭り

▲去る二十七日に花の祭りと言ふものを見ました。冬枯れの野から春の歡びを歌ひ、初夏のすが〳〵しい光りの中に咲き出でたくさ〳〵の花を各自にもちより、互に今日の溌溂たる『生』を祝福し合つてから、その花を冷たい病床に横つて明け暮れ身の不幸を悲しんでゐる病者に捧ぐるために、近くの病院へもつて行くのでございます。之れは綱島佳吉氏の番町教會に屬する日曜學校の生徒の手によつて營まれたのでした。九段から少し奧へ行つた所の上六番町の蔦葛が青くからんだ赤煉瓦の教會です。

▲花の祭りは中學部の生徒の納所辨次郎氏令息重雄さんの奏樂によつて初まりました、正面の高壇には、檜や椿の青い葉に交つて、眞白な百合の花や、眞紅な薔薇の花や、芍藥の蕾や牡丹やマーガレットの白い花や、撫子、菫、アネモネなどの花が大きな花瓶や小さな花瓶の中で匂つてゐます。その前には男女合はせて百三四十人の日曜學校の生徒が威儀を正して坐つてゐるのでございます。五六歳から十六七才迄の子供です。

▲生徒達は唱歌やお話しや讃美歌や聖書の朗讀をした後に、『初夏の朝』と題する對話をしました。それは平和な一夜が雞や雀の聲によつて明け、曉の明星の光りも薄らいで太陽が上り、百千の花が朝露の中に目醒めて太陽から神の惠を説かれ、太郎と言ふ子に導かれて病者を見舞ふ一幕物です。言葉の巧みなどはないが小さい子の手に演じられる夫れは、悉く詩のやうに思はれました。

花の微笑、鳥うたふ。
　はな麗はしく鳥愛らし。
大いなるもの小さきもの、
　萬、妙なる、神のみ業——

と歌つて最後に這入つて行く所などは涙の滲むほど愛らしいものでした。この對話には與謝野晶子女史の愛孃が撫子に扮して居るのなどを見受けました。祭りは十一時半に終り、夫れから各病院に花を送りました。この日はまた、『皇國の興廢』、はの東郷元帥の信號で忘れ得ぬ日本海戰の十三年目の紀念日に相當し海軍々人は記念會を催してゐました。（民子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□吹上御苑の天覽武術　二十七日午後二時、吹上御苑馬場に於て兩陛下天覽の演武が催されました。當日は各宮殿下、宮內官等の御陪觀多く、五時過ぎ了を告げました。

□淳宮御寄宿　毎日皇子御殿より陸軍幼年學校へ御通學遊ばされたる淳宮雍仁親王殿下には、御寄宿舍の調度品も整頓いたしました爲め、二十五日より同舍に入らせらるゝ事になりました。

□久邇宮王女御命名　去る十八日御誕生あらせられたる、久邇宮多嘉王殿下の第三王女殿下には、二十四日恭仁子女王と御命名遊ばされました。

□皇族講話會　北白川宮成久王、同妃房子內親王兩殿下御當番にて、二十六日午後二時芝離宮に於て皇族講話會を催はさせられました。細川顧問官は女四書の續きを、又小田切陸軍少將は露國に於ける戰時婦人の活動を進講致されました。

◉李氏總理と決定　紛糾を重ねたる支那政局も二十三日段總理免職せられ、徐世昌氏王士珍氏を推擧の聲が高うございましたが、兩氏共に固辭して受けざるより、李經羲氏を推すことゝなり、上下兩院は大多數を以つてこれを可決致しました。

◉故大使の靈柩桑港着　故ガスリー米國大使を載せたる吾妻艦は、二十五日午前八時無事に桑港に着、先着の未亡人外遺族の人々に衛られて、ピッツバーグに向け午後二時出發されました由傳へられます。

◉帝國海軍の大活動　二十四日海軍省の發表する處によりますと帝國海軍は小栗孝三郎少將の率ゐる一艦隊を海峽殖民地並に印度洋方面に、佐藤皐藏少將の一艦隊を地中海に、山路一善少將の一艦隊を南太平洋方面に、各策動せしめ、聯合諸國との協同作戰に從事して居ると申します。此艦隊が何時頃から斯る行動を採つて居たかは遺憾ながら未だ發表せられませんが、各方面に出動以來我艦隊は未だ一の死傷者をも出さず士氣頗る旺盛である由です。

◉元帥を賜ふ　海軍大將正三位勳一等功一級男爵伊集院五郎氏は二十六日「元帥府に列し特に元帥の稱號を賜ふ」旨の辭令を受けました。同男は鹿兒島の藩士で今年六十六歲になられ、日清、日露の兩役とも大功のあつた海軍隨一の老提督である事は世人の熟知せる處であります。

◉水交社の海軍記念日　今より十三年前「皇國の興廢此の一戰にあり」てふ壯烈なる信號旗下に、血戰した日本海々戰記念祭は其の當日なる廿七日築地水交社に於て行はれました。此日聖上陛下を初め各宮殿下御臨場の餘興として大相撲及び太神樂等の催がありました。

◉夥しき地方の大火　廿二日午前十時三十分より山形縣米澤市に大火起り、全市の目貫の場所殆ど燒失し、死傷者を多く出す等慘狀を極めて居ります。翌二十三日、北海道、越後等に大火續出し、遠州、磐田郡も亦祝融の禍を招いて居ります。其の他大津、長野、福岡と各地の夥しき火災を耳に致します。これは戰爭の結果、各工場が盛んとなり、これに働く人も從つて多くなりますから、消防の不完全な地方にあつては、一度出火すれば人手が尠くて容易に消し止める事が出來ない爲めであると申します。殊に米澤市の如きは損害一千萬圓に及び、恢復は頗る困難であると申します。畏き邊にて特に清水谷侍從を差遣はされ、金三千圓を下賜せられました。

◉女生體育問題　女子體育奬勵問題は教育界年來の宿案でありますが、未だ是非は決して居りません。然し過日開催された高等師範學校長會議で、中川（東京）野尻（奈良）兩女高師校長より實狀報告を徴れて、奬勵方法に關する當局の意見を求めました。それが爲め文部省では近く之が解決をなす爲めに、研究調査に着手する筈であります。其の前提として女子の各學校の現狀を考査するの必要から、實地視察或は女高師以下各女學校に對して、報告を徴することゝなるそうです。

◉愛國婦人會の招待　伯爵母堂阿部篤子刀自が會長なる愛國婦人會にては此の三十日陸海軍、內務、宮內、大藏の各大臣次官を初め警視總監、岡部、清浦、小笠原の三子爵、江木千之、山田春三の諸氏及び折柄入京中の地方長官約百名を招待し午後五時から華族會館で晩餐會を開きました。當日の總裁閑院宮智惠子殿下を首め奉り、名譽會員たる各宮殿下も台臨あらせられ、非常なる盛會でございました。

◉下田女史の還曆の祝ひ　女史は昨年來門下生に、知己から屢々還曆祝ひの催しをなせんとの企てた對し、世界多事の際且つ、少しく思ふ處もあればとて固辭せられて居られましたが、今回は本野外相の夫人岩佐男爵夫人等が發起となつて卅名の有志婦人集り、廿四日矢の倉福井樓に極めて內々の祝宴を擧げました。婦人達は記念として耕織子に金糸で、壽の一字を刺繡した座蒲團を贈りました。

◉婦人ホーム改築成る　救世軍の婦人ホームは豫てから麻布區廣尾町四十四番地に改築中の處、此程落成しましたので、二十八日午後二時から開所式を行ひました。當日は志立たき子女史、新渡戸稻造、江原素六氏等の祝辭演說があつて、四時過ぎ散會致しました。會するもの二百餘人、新ホームは建坪百三十坪の二階建で、家庭的な感のいゝ建物です。

◉露國負傷兵の療養所新設　豫てから在日露國婦人の間に、本國の負傷兵慰問の方法が考究せられて居りましたが、今回愈々風光明媚な日本に、療養所を設置する事となりました。場所は目下詮衡中ですが、大概橫濱附近で外國人には便利のいゝ海岸を選ぶ由です。收容人數は三十人で追々に交代させる筈でありますが、種々設備其の他で開所迄には二ヶ月を要しますから、七八月頃から實行されるやうになりませう。

◉江藤新平未亡人逝く　幕末の傑士として、今に其の名を知られて居る江藤新平の未亡人千代子刀自は、老齡の上に食道癌に罹はれて、廿七日鄕里佐賀に於て逝去されました、享年八十五歲。夫新平が明治七年四月十三日、四十歲を一期として梟首せられた時は、刀自は四十二歲でありましたが、更に取り亂した樣子もなく靜かに夫の冥福を祈られました。其の甲斐あつて、曾て故人の靈前に正四位が贈られた時には、天恩の厚きに東京の空を拜して感泣されたと申します。刀自は良人の歿後は一人鄕里なる佐賀市龍泰寺小路にあつて永き餘生を送られてゐたのでした。

◉唯一人の女齒科醫　本年施行の齒科醫師試驗の實地及第者數十人中榮冠を得た婦人は唯一人でありました。佐賀縣杵島郡福富村の人で、當時は本鄕東片町十一、鈴木氏方に居る川崎千代子（二三）と云ひ佐世保市立高女を卒業し大正二年上京して、東京女子齒科醫學校並に、東京齒科醫學に學び、今回合格したのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

個人消息

▲廣岡郁子　良人久右衛門氏此の度歐米留學の途に上らるゝにつき、小石川邸を引上げて、二日大阪の本邸に赴かるゝ筈。

▲石黒晴江子　小石川櫻楓會託兒所に丸山千代子女史を助けて、數年保姆を勤められし同女史は、廿六日岡山縣倉敷紡績會社人事課長橋本孫三郎氏と結婚、直ちに同地に赴かる。

▲與謝野晶子　目下妊娠の由。

編輯室より

▲近年婦人講演會が頻々催され、土曜、日曜には、彼れへもこれへもと行き煩らうやうに、數多くございます。記者は務めて各種の會合に出席し、そしてその中の最も撰んだものを本誌に掲げて、都に住んで、常に新らしい說を聞き得る幸を、廣くお頒ちしたいと願つて居ります。▲初夏か來て何となく土に親しみを覺えます。殆ど空地のない此處も樽や鉢に土を盛つて、植ゑて置いた里芋や胡瓜の苗が、日の日に延びて行くのを見るのも嬉しうございます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、俗の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査・裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜木曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

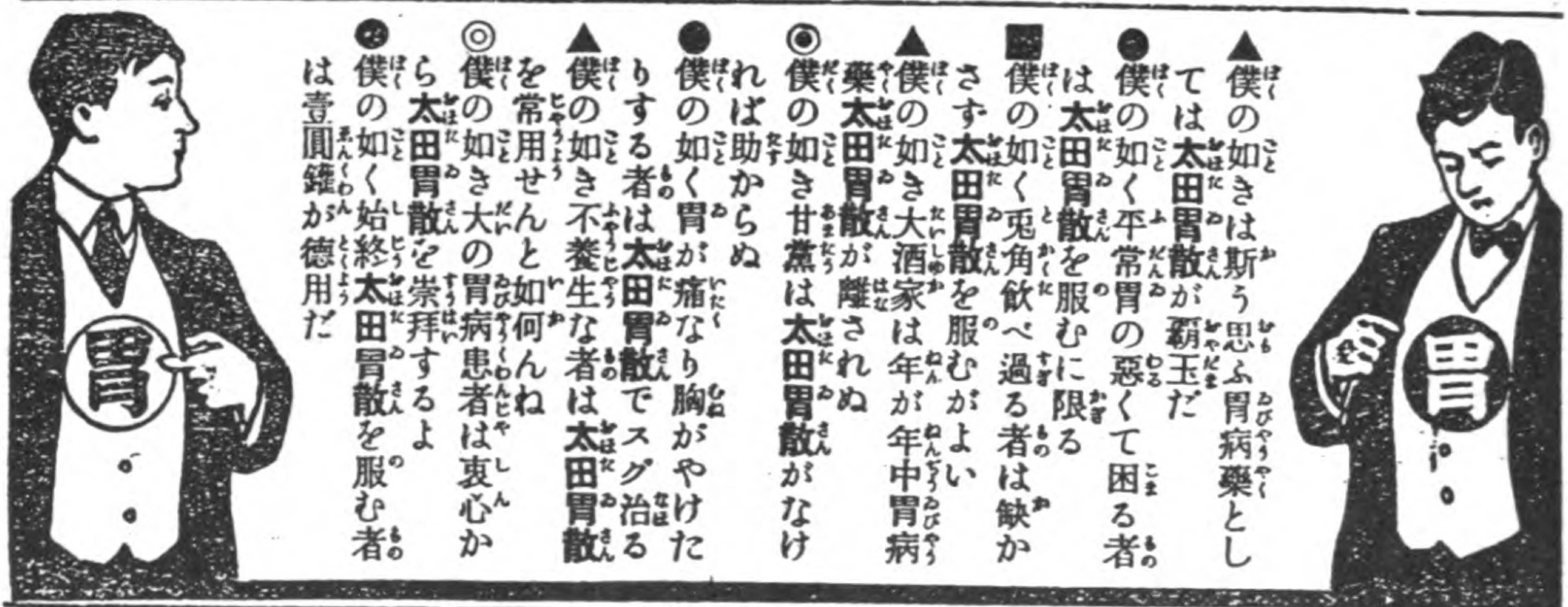
廣告料

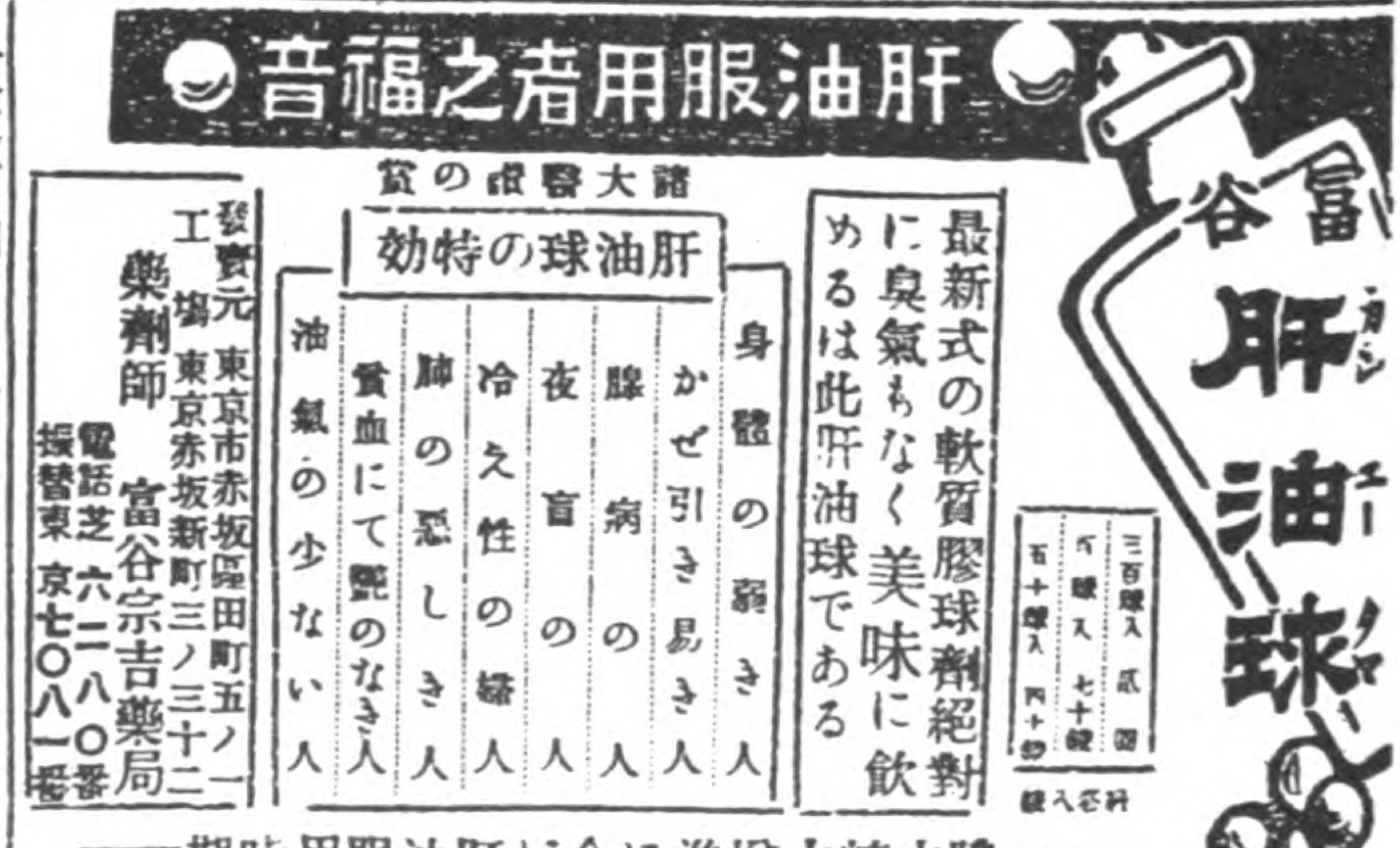
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番





十九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋内科醫院

院長　醫學博士　**高田畊安**

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他

院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時

林、峰間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）

電話番町　六二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察　土曜日　午後入院診後應需

診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

電話ちがさき二番

大黒天印　赤　白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱

商品切手調進仕候

宮内省御用達

東京市日本橋區通旅籠町

發賣元　**甲斐産商店**

電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門

大野醫院

院長　耳鼻咽喉科　**大野喜伊次**

東京京橋區南鍛冶町廿七

電話京橋一〇三五

（入院隨時）

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後

病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長　**女醫吉岡彌生**

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二三五七

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立　**櫻井女塾**

本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

新發見

クリーニング水

シミヌキ液

定價一瓶金廿五錢

當商會特製發賣の椿印クリーニング水は世間有り觸れたる從來の品とは全く其質を異にし當商會の技師長が多年歐米に於て實地研究せられたる苦心の結果發明したる無二の特効液にして其効力の偉大なることは實に驚くべきものなり現に各國大公使館帝國ホテル等に於て愛用せられつゝあるのみならず内外朝野の貴顯紳士貴婦人向として上中流社會の各家庭を通して一日も缺くべからざる常用品たるに徴て見るも如何に理想的にして且つ實際的クリーニン液たるかを證し得て餘りありといふべし

使用法　ブラシに着けて和洋服裝飾等の汚みの局部を輕く摩擦すれば如何なる汚れも立所ろに融消す如く無くなるべし、又絹其他の薄地のものには裏面より白き布片を當てゝ其上より摩擦すれば地質を損せず變色伸縮等の憂ひなし

注意　此液は火氣のある處にて取扱ふことは勿論平生も火氣ある處に決して置かぬ　御注意あり度し

東京麹町區有樂町一ノ四

製造發賣元　**椿クリーニング商會**

（電話新橋一九三四）

若し此液を用ても御滿足にしからぬ場合は御一報次第早速店員參上可仕又此號に貼用の口紙御持參の方には一割引にてクリーニングの御注文に應じます

産科、婦人科、小兒科

女醫　**井出茂代**

東京府内藤新宿番衆町卅一番地

電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間

○京橋南八丁堀櫻橋際

（電京一二二三一番）

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

日本一印白毛染

一、「日本一」印白毛染は弊舗が多年研究の結果製出したもので、白毛や赤毛を恰で漆の如に黒ら艶々しく染め、ふけを除り癖毛班縮毛等を矯すことが出來る最新科學應用の理想的染毛劑です

一、使用法は極手輕で、家庭に於て誰人でも短時間に染められ、頭髪は勿論、髭髯、眉等に用ひて有効です、白毛赤毛の方は試に一度御使用下さい。

定價一劑金廿五錢（電話又ははがきで御用命下さらば直ぐ御屆けします、はがき代は御返し致します）

製造發賣元 東京市日本橋區小傳馬町二丁目九番地
化粧品問屋 永井徳太郎商店
電話神田一四一六番
振替口座東京二六〇八五番

和洋 裁縫講習錄

共立女子職業學校教師 敎氏及大家博士 文部省檢定委員 執筆

卒業一ヶ年 月謝僅に卅五錢
三ヶ月一圓・一年三圓六十錢（美本毎號百六十頁）

自宅獨習 生徒募集

和服裁縫科
小物及細工物科
洋服裁縫科
袋物科

▲國民道德 ▲敎育學 ▲裁縫敎授法 ▲洗濯色染 ▲檢定試驗問題解 ▲質疑應答等

▲裁縫だつて學校で敎へる通りに筆に現はせば獨習が出來る等です。本會は即ち苦心研究の結果自宅に居乍ら裁縫學校卒業と同樣の實力を充分に授く。
▲小學卒業者には何人にも分る程平易丁寧に初歩より高等裁縫迄敎授す。
▲完結の後は各科別に綴れば、それ〴〵立派な大部な書物となり、常に机上にありて敎導す。
▲良妻賢母の心掛ある人は何人も必ず家庭に一本を備へ付け置く必要あり。

女學生は不完全な間違多き自分の筆記帳を頼りに勉強し、敎科書無しに地理や歴史を習ふ樣な不便がなくなる。

内容見本附規則郵券貳錢送れ

敎育社會は驚喜し一般家庭の歡迎如沸。先づ規則を見よ

東京神田今川小路
日本裁縫敎育會
電話本局四六二二・振替東京三〇七六

個人敎授 裁縫手藝

和洋裁縫、刺繍、造花、編物、袋物、摘細工
儀式用折紙並水引結方、縫細工、堰細工、絞染

高等、普通、速成、研究各科三ヶ月六ヶ月卒業
乙 普通師範科二ヶ年、甲 普通師範科
高等師範科各三ヶ年卒業
入學隨時、詳細規則書郵券二錢ヲ要ス

東京麴町區上六番町七番地
大妻技藝學校

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料

御園白粉（みそのおしろい）

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以て冗費を省き包裝を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乘りよく伸びよく斑點を生ぜず生れ乍らの美さを現す事化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり。

御園白粉
御園の月
御園の花
御園撫子
御園紙白粉
御園四季の花
御園の露
御園の蕾
御園クレーム
御園香精
御園の橘
御園香油
御園齒磨
御園ルチゲン

本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社 電話番町四五六八・振替東京三一六六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA